

幾代会観察会(2023年2月)のまとめ

- 日時：2月5日(日)
- 集合場所：武蔵五日市駅 改札を出たところ
- 集合時間：9時45分

●観察場所：小峰公園

●ポイント：セリバオウレンを求めて

●ルート：武蔵五日市駅～都立小峰公園(セリバオウレン)～広徳寺(タラヨウ・カヤ)～阿伎留神社(モッコク・クスノキ)～武蔵五日市駅(全行程7Km)

●参加者：宇津木さん、梅田さん、武藤さん、羽深さん、石川さん、浅井さん、大村さん、土方さん、太田さん、中部さんと越前の11名(申込順)
下見：1月20日(金)4名

◆感想 参加者からの一言

Uさん：これまでに習ったことが分かって良かった。

Oさん：セリバオウレンが可憐で感銘した。

Iさん：お天気にめぐま

2023年2月例会 武蔵五日市…小峰公園…広徳寺…玉林寺…郷土館…武蔵五日市駅



れ楽しめた。ロウソクゴケは初めてでカワヅザクラも見られてウキウキした。

Aさん：カワヅザクラと広徳寺のイチヨウが立派だった。

U(男)さん：セリバオウレンが良かった。又、歩いて良かった。

Nさん：良く歩けた。骨がガタガタに成ってきた。

Hさん：セリバオウレンやコウヨウザンが見られて良かった。

ORさん：広徳寺の大きな巨樹からエネルギーをもらった。

Mさん；コウヨウザンが良かった。

H(男)さん：広徳寺の名前は知っていたが初めて行けて良かった。

◆2月の植物観察会のポイント

●ツバキの受粉。



日本には太平洋側のヤブツバキや日本海側のユキツバキなどの自生種が生育して常緑樹の少ないヨーロッパに持ち込まれ、もてはやされた。

ツバキは冬の寒い時期に赤い花を咲かせます。又、鳥で受粉され色々な仕組みがあります。

雄蕊や雌蕊の位置や奥まった蜜の位置は鳥の体格に合っている。

又、花卉がシッカリしていて厚いのも鳥受粉の特徴。

鳥は鼻が鈍いので香りが無く赤い色が認識しやすいのも鳥受粉の特徴。

花と鳥の最適な蜜量は飛んで来る鳥のカロリー消費量より少し上回る量。

蜜の量が多いと鳥は満足して別の花に飛ばないので受粉されず、少ないと鳥は飛んでは来ない。

●寒さを生きるオオイヌノフグリ

春一番にコバルトブルーの花を咲かせるオオイヌノフグリは“聖母マリアの瞳”、“鳥の目”又は“ブルースターと言われる。



寒い冬から多くの花を咲かせるにはいろいろな仕組みが有ります。

- ① 花弁はパラボラアンテナの形→熱を集める
- ② 花弁にガイドライン→訪れる虫に蜜のありかを示す
- ③ 花柄が細い→虫がしがみついて揺れると虫に花粉が付きやすい
- ④ 茎はほふくし毛が有る→寒さに耐える工夫
- ⑤ 種子の表面に筋が有る→土になじみやすく種が靴の裏について運ばれる
- ⑥ 自家受粉する→近交弱勢がない

◆散策路の植物



武蔵五日市
駅にチョッ
ト早めの 9
時 45 分に
参加者 11
名が全員集
合。
O さんが
「今日は参
加者が多い
わね」
参加人数が
多いと輪が

華やぎます。まず最初の観察地、小峰公園へと足取り軽く歩き出しました。



セリバオウレン

秋川橋から秋川の清流を眺め、車の少ない裏道を抜けて鶏の鳴き声が賑やかな山下養鶏場の脇を通過して、小峰公園に向かいます。

途中、石ガキに座り水分補給をしながら畑一面に生えた帰化植物のノボロギクの説明。

こんな寒いのに筒状花を咲かせ綿毛を飛ばして、よく頑張っていますね。

春菊に似た艶のある葉は一見食べられそうですが、有毒で下痢や吐き気を催すので要注意。

ほどなく小峰公園に到着し、桜尾根から見学です。

すっかり葉を落とした雑木林の右側に先端に果実を付けたヌルデが目立ちます。

更に進むと左側に一段と大きな落葉樹の先端に房になった黒っぽい果実が付いていました。

??。後日ビジターセンターに伺ったら思った通りカラスザンショウでした

小峰公園の杉の木広場ではお目当てのセリバオウレンの花を探して「可愛い〜」と歓声。



梅林

ジックリと探すとセリのように切れ込んだ葉に直径1cぐらいの白い花があちらにもこちらにも〜咲いていました。良かった！！

ふれあい広場の紅白の梅林を眺めながら六角ベンチに座ってランチタイム。

植物以外の今時の話題で盛り上がり情報交換です。

それにしても小春日和でポカポカと暖かです。

昼食を済ませ葉を落とした銘

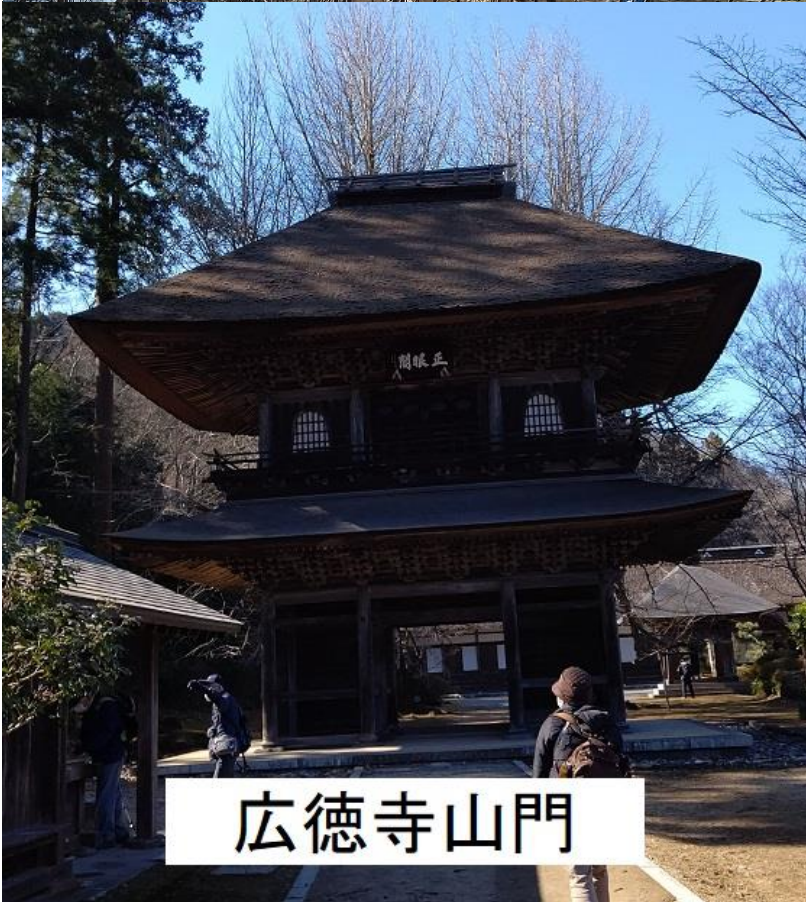
木のムクロジまで引き返し、あきる野市の名刹広徳寺へ向かいます。

小和田グランド沿いに葉を落とした数本のオニグルミが生えていました。

枝先の大きな冬芽は毛におおわれた裸芽で可愛い羊の顔に見えます。



フヨウの果実



広徳寺山門

下を探すと昨年落ちたオニグルミの果実。

更に進むと野良坊やダイコンが生えた畑の脇に背丈ほどのドライフラワー。

「これ何かしら」との声。

フヨウの果実です。

毛が生えた果実の先端が5つに割れ、中の種子は殆どが風で飛ばされていました。

でも陽を受けた果実は透けてトテモ綺麗です。

参道に登る坂道には春を先取りのピンクの花を咲かせたカワヅザクラがお出迎え。

「今年初めて～～」の喜びの声。

広徳寺の茅葺屋根の山門をくぐると二本の葉を落としたイチョウの巨樹が圧巻です。

本堂の裏側には天然記念物のタラヨウやまっすぐにそびえたつコウヨウザン(ヒノキ科コウヨウザン属の常緑針葉樹)

じさんから「先月教わったタラヨウが又出てきた」と喜びの声。

足元には枝についたコウヨウザンの花のような丸みのある球果が無数に落ちていました。

クリスマスリースやドライフラワーに利用されネットでは8個550円で販売。高い～～針葉樹ですがひこばえが出るのが特徴です。

広徳寺のコウヨウザンにも根

元から緑の新芽を付けた何十本ものひこばえが元気に生えていました。

樹の肌はまっすぐな割れ目がありスギにそっくりです。

道なりに右折すると今度は天然記念物のカヤの巨樹が青空をバックにとそびえたっていました。成長が遅く材が緻密で樹齢300年以上のカヤで作った将棋盤は最高級品とか。

300年待たないと製品に成らないとは〜〜〜です。

のどかな田園風景や里山を眺めながら一路、佳月端に向かったらナント全面通行禁止で渡れません。

あらまあ〜2月20日の下見では渡れたのに〜〜本当にすいません。

誰からも不満の声が出なく優しい仲間で大助かり。

そこで玉林時の庭園と五日市郷土館の雛人形はパスをし、右折して秋川の右岸を歩き、下流側の小和田橋を渡り、阿伎留神社へとコース変更です。

「この神社は〜〜何という古刹だったかな？」

Iさんから小さな声で「延喜式内」と返事。

「そうそう」阿伎留神社で神輿殿前の屋根より高いモッコクと拝殿前のクスノキを見て武蔵五日市駅へと向かいました。

本当に2月とは思えない暖かなお天気に恵まれ、和やかな植物観察会ができました。

武蔵五日市の駅で集合写真を写して貰い、反省会。

今回はUさんに散策路の写真を写して貰いグーグルフォトのリンクアドレスをメールで送って貰い、有難うございました。3月の幾代会は散策ガイドのコースを本番と同じように巡りますから、何が何でも参加をお願いします。

越前記

